令和５年度　丹波市立隣保館事業実施結果報告

資料7

【相談事業】

隣保館総合生活相談

生活上の相談、人権に関わる相談に応じ、適切な助言指導を行う。

	開設場所	開設日	対応者
○常設相談	氷上文化センター・七日市会館 （電話・来館）	常　設	相談指導員、館長
○出張相談	柏原・青垣・山南・市島地域の住民センター	月 2 回	相談指導員

【相談内容】　　（　）は R4 年度

相談開設場所	人権相談				生活相談				職業相談			
	来館		電話		来館		電話		来館		電話	
氷上文化センター	2	(0)	65	(20)	4	(21)	24	(0)	0	(1)	0	(0)
七日市会館	0	(0)	0	(0)	0	(2)	1	(1)	0	(0)	0	(1)
出張相談	0	(0)	0	(0)	0	(2)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
相談開設場所	教育相談				福祉相談				その他			
	来館		電話		来館		電話		来館		電話	
氷上文化センター	0	(0)	0	(0)	3	(1)	2	(0)	0	(0)	3	(1)
七日市会館	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
出張相談	0	(0)	0	(0)	1	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
合計	105 件　（R4 年度 50 件、R3 年度 19 件、R2 年度 21 件、R1 年度 19 件）											

【啓発・広報活動事業】

1　人権標語・人権啓発パネル展

「人権文化をすすめる市民運動」の一環として、未来を担う子どもたちがさまざまな人権課題を考え、人権に関する標語の作成を通して、人権尊重の重要性について理解を深めるとともに、お互いの人権を尊重し合える社会の実現を目指した啓発資材として活用する。

事業名	内　容	募　集	実施時期	応募数	備　考
じんけん標語 作品募集	人権に関する標語を募集	小学5、6年生 中学1.2.3年生	募集期間 9月上旬	222 点	優秀賞・優良賞 各受賞者５名 計10名
じんけん標語展示	全作品を展示		展示場所：ゆめタウンゆめ広場 展示期間：12 月1日～12月8日		
じんけん啓発パネル展	「いろいろな性を考えよう」（15 枚）				

2　人権歴史講座　３回講座

目的　①部落問題の正しい歴史認識を持つ
②様々な人権問題への理解を深める
③被差別地域に対する忌避意識の解消に繋げる
④教師と地域住民の共通理解を図る

事業名	事業内容	参加者	実施時期	講　師　等
第1回	「何が部落となったのか－1900 年代初頭における部落問題の成立-」	36 名	8 月 9 日	講師：関西大学名誉教授 石元　清英さん
第2回	「教科書のなかの部落問題～その大きな変化から考えること～」	51 名	10 月 17 日	講師：市民のための人権大学院/ じんけんSCHOLA共同代表 上杉　聰さん
第3回	フィールドワーク：京都市 ツラッティ千本～周辺地域のフィールドワーク～大徳寺～龍安寺	11 名	11 月 17 日	ガイド・説明：ツラッティ千本職員

3　じんけんセミナー　４回講座

目的　同和問題をはじめとするあらゆる人権課題を問題提起し、解決に向けて啓発をしていく。

事業名	事業内容	参加者	実施時期	講　師　等
第１回	「ハンセン病を考える」	26 名	6 月 30 日	講師：西浦　直子さん （国立ハンセン病資料館）
第２回	「へこたれへん」 ～人はきっとつながれる～	44 名	7 月 27 日	講師：松村　智広さん （みえ人権教育　啓発研究所代表）
第３回	人権ゆかりの地探訪（氷上） 「誰ひとり取り残さない教育をめざして」 ～みえるとわくわくする部落の人たちの生き方～	60 名	8 月 22 日	講師：細田　哲子さん （元小学校教師）
第４回	「ヤングケアラー・私の体験」 ～周りの人と一緒に～	36 名	1 月 30 日	講師：松岡　園子さん （福永アカデミー講師）

4　啓発資料貸出

内　　容	期　間	備　考
隣保館所有の啓発用DVD・書籍の貸出	通年	随時受付
貸出実績：学校・自治会・個人等　：　延 13 件、延 18 作品（令和4年度：延 10 件、延 23 作品）		

【地域交流事業】５回講座

目的　交流事業を通して、住民相互の交流促進を図る。

事業名	事業内容	参加者数	実施時期	講　師　等
第１回 庭木剪定教室	庭木剪定	19 名	7 月 14 日	講師：造園業　東野　忠満さん
第２回 果樹剪定教室	果樹剪定	23 名	1 月 27 日	講師：石戸観光農園 代表　河村　修治　さん
第１回 料理教室	料理実習 （コーヒーの淹れ方教室）	19 名	11 月 11 日	講師：岡崎　亘さん
第２回 料理教室	料理実習 （そば打ち体験）	20 名	12 月 16 日	講師：瀬田　勝さん
第３回 料理教室	料理実習 （コーヒーの淹れ方教室）	18 名	3 月 13 日	講師：岡崎　亘さん

【地域交流促進事業】

休日等開館事業　委託先：特定非営利活動法人 リアンたんば

事業名	内　容	募集人数	実施時期
子どもの居場所づくり	・様々な問題を抱えた子どもを対象として学習・生活支援を行う。 ・子どもが抱える様々な悩みや問題に対して、対象者及びその家族からの面接相談・電話相談業務を行う。	20人程度 （参加児童・生徒数 14 名）	2～3回/月 土曜日　午前中 年間26回開催

学習・生活支援教室　参加者数										参考	相談件数
	小３	小４	小５	小６	中１	中２	中３	高校生	Ｒ５計	Ｒ４計	
4/8		3	1	1	3				8	12	1
4/22		1			3				4	17	1
5/6		2		3	2		2		9	14	1
5/20	1	3	1	2	2		1		10	12	1
6/3		4	1	2	2	1	2		12	15	1
6/17	1	2		3	3	1			10	13	
7/1	1	2		2	2		1		8	12	
7/15	1	3	1	2	2	1	1		11	15	
7/29		4	1	2	2	1	2		12	6	
8/5		4	1	3	2	1	1		12	18	
8/19		4	1	2	2	1	1		11	14	
8/26	1	1		2	2		1		7	12	
9/2	1	2		3	1	1	1		9	10	
9/16	1	4	1	3	1	1	1		12	11	
10/7		2		2	1		2		7	13	1
10/21		2		2	2	1	1		8	13	
11/4	1	1		2	1	1	1		7	17	
11/18					2				2		
12/2		4	1	2			1		8	18	
12/16	1	2		2	2	1	1		9	13	
1/6		4	1	3	2		1		11	17	
1/20		2		2	1		1		6	16	
2/3	1	2		2			1		6	17	1
2/17	1	3	1	2	1		1		9	9	
3/2	1	3	1	1					6	15	
3/16	1	3	1	1	1		1		8	9	
計	9	56	10	45	40	11	22		222	338	7

【その他】

1　貸館業務

地域住民の生活文化の向上及び福祉の増進を図り、人権意識の高揚のために設置された施設の利用増進を図る。

施　設	利用時間
○氷上文化センター	午前9時から午後10時まで （12 月 29 日から 1 月 3 日除く）
○七日市会館	
○貝市会館	

【施設の利用状況】

施設	令和４年度				令和５年度			
	利用回数		利用人数		利用回数		利用人数	
	有料	免除	有料	免除	有料	免除	有料	免除
氷上文化C	113	103	1,070	1,674	160	148	1,436	2,267
七日市会館	42	43	508	610	48	73	398	770
貝市会館	18	5	227	130	49	6	239	107
計	173	151	1,805	2,414	257	227	2,073	3,144
合計	324		4,219		484		5,217	

2　人権啓発研究第 44 回兵庫県集会　サテライト会場（氷上文化センター）

日　時　　令和 5 年 10 月 28 日（土）10：00～16：00

場　所　　会　場　　：兵庫県立のじぎく会館

　　サテライト会場：氷上文化センター

記念講演　もう始まっている多民族・多文化共生社会　まっとうな移民政策を

　　～どうして奴隷労働と言われるのか外国人技能実習制度～

　　講師　鳥居　一平さん（特定非営利活動法人　移住者と連帯する全国ネットワーク代表理事）

分科会　　ネット上の部落差別の現状とモニタリングの課題

　　北川真児さん　（部落解放同盟兵庫県連合会）

　　三澤雅敏さん　（公益社団法人尼崎人権啓発協会）

3　高齢者の居場所づくり

目　的　地域住民（高齢者）が気軽に集え、個人や地域が抱える課題を共に語り合う場つくりを行う。

場　所　氷上文化センター　他

開催日　月 1 回（水曜日）　12 回開催

参加対象　西中連合区の高齢者

主催者　ボランティア団体　ひなたぼっこ

4　中央小学校３年生が人権現地学習に来館（10 月 27 日：40 人）

学習内容

・氷上文化センターの仕事

・隣保館がつくられた目的（いじめや差別のないまちにする。だれもが仲間はずれにされないまちにする。一人ひとりの生き方が大切にされるまちにする。）